

7月に入り、季節はいよいよ本格的な夏へと突入しました。今年も、例年よりも梅雨明けが早く、厳しい暑さに見舞われる日々が続きます。

さて今号は、5月に実施した立入荒牧遺跡、下之郷遺跡での確認調査の成果、そして今宿二丁目で見つかった東辻戸遺跡の調査成果について紹介していきたいと思ひます。



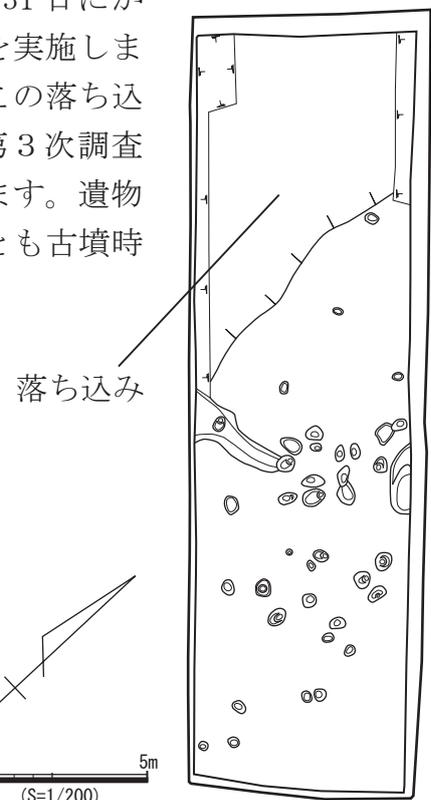
● 発掘調査成果 ●

(1) 立入荒牧遺跡 第4次調査

立入町地先において、平成23年5月23日から5月31日にかけて、約150㎡を対象に宅地造成工事に伴い発掘調査を実施しました。調査では、ピットと落ち込みを確認しました。この落ち込みは、深さ約60cmで、地形的な落ち込み、もしくは第3次調査で検出されていた自然流路の一部である可能性があります。遺物は、若干の須恵器片・土師器片が出土しており少なくとも古墳時代以降のものであると考えられます。(木下)



調査地全景 南東から



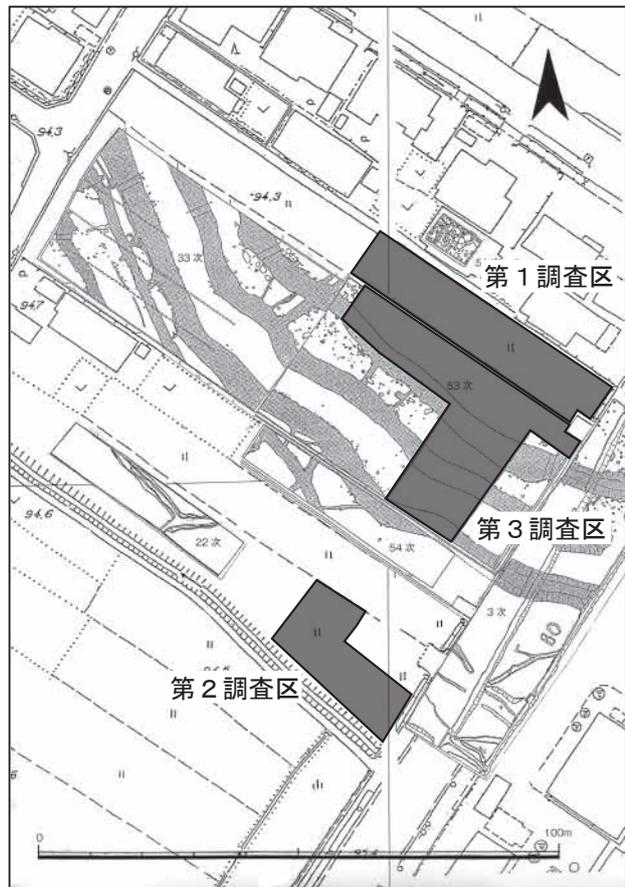
立入荒牧遺跡 全体図 (S=1/200)

(2) 下之郷遺跡 確認調査

平成 23 年 6 月 9 日から、下之郷三丁目地先で宅地造成に先立ち、遺構の確認調査を実施しています。

下之郷遺跡は、弥生時代^{かんこうしゅうらく}に出現する多重の環濠に囲まれた「環濠集落」の一つで、今から約 2,200 年前の集落跡であると考えられています。これまでの調査成果の中で、少なくとも 3 重の大溝に囲まれた集落跡で、その中からは貴重な遺物が多数出土していることから、現在では国史跡として指定されています。

今回の調査対象地は、史跡指定地から西に離れた地点で、調査地内を 3 つに区分し、平面検出による調査を行っています。第 1 調査区は、3 重環濠の内側にあたります。周辺の調査結果や環濠の内側、つまり集落の内部にあたる地点であることから、多くの遺構が確認されることが予想されていました。調査の結果、多く



調査対象地 周辺図



下之郷遺跡 全体図

の土坑やピット、溝などの遺構が確認されました。今回の調査では、遺構の保存を目的としているため、遺構の掘削は実施しておらず、遺構の性格などの詳細は判然としませんが、検出した遺構の直上から弥生時代中期後半の土器や、磨製石鍬^{ませいせきくわ}が出土していることから、確認された遺構の大半が、環濠集落に伴う遺構と考えられます。調査は現在も進行中で、下之郷遺跡における新たな知見を得られることに期待したいと思います。（平井）



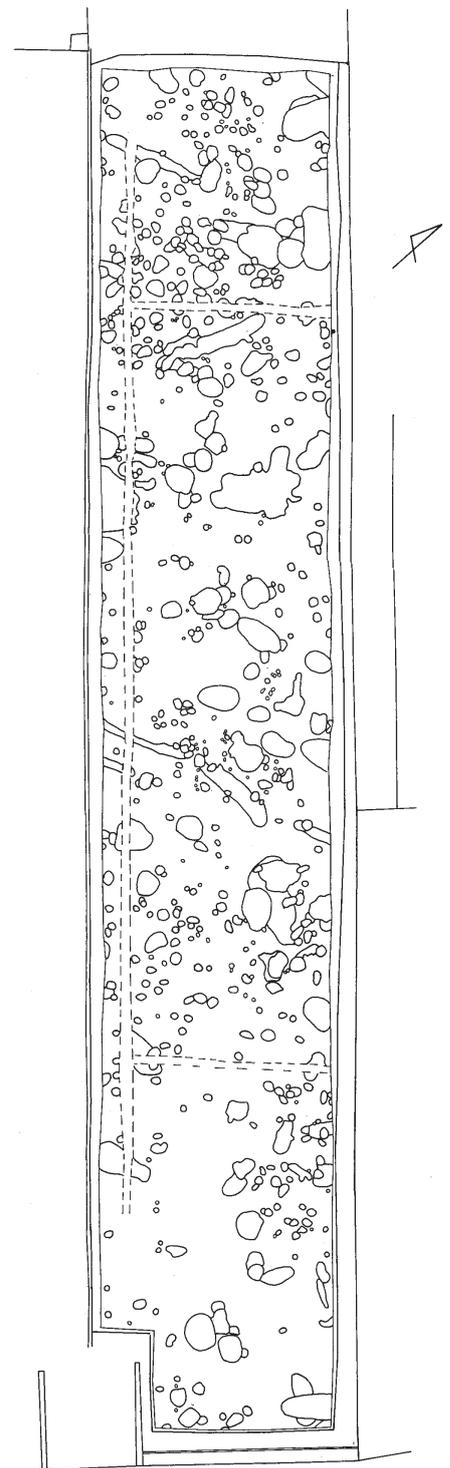
第1調査区 全景 北西から



第1調査区 全景 南東から



第1調査区 中央部 西から



0 10m
(S=1/300)

下之郷遺跡
第1調査区 全体図 (S=1/300)

(3) 東辻戸遺跡 第1次調査

平成23年6月8日から、今宿二丁目字東辻戸地先において、宅地造成工事に伴い、約1,430㎡を対象に発掘調査を実施しています。東辻戸遺跡は、今春の試掘調査により発見された、市内で最も新しい遺跡になります。

調査は第1・2調査区に分けて実施していますが、対象地の地形は、第2調査区の方が第1調査区よりも約1mほど高いという急な地形変化が見られる地点で、その点についても今後の調査の進捗の中で重要な視点になるかもしれません。

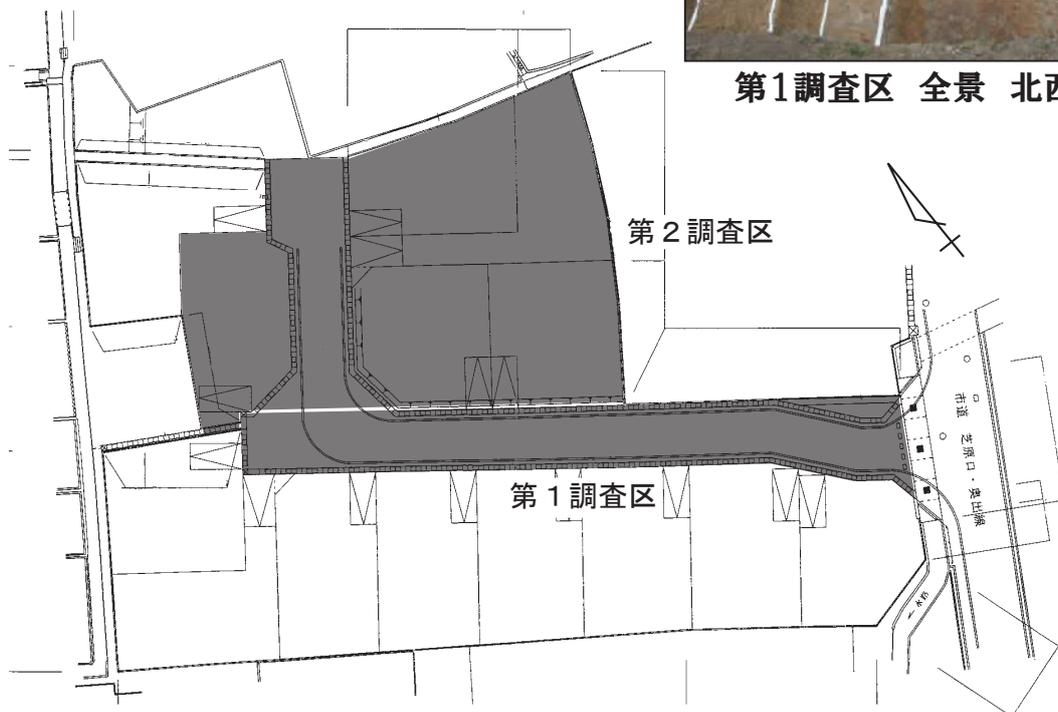
現在調査は、第1調査区が終了し、第2調査区に着手しています。第1調査区では、溝が検出されています。溝1は、幅約2m、深さ40cmの規模で、トレンチを縦断する形で延伸しています。出土した土器から、7世紀中葉から8世紀前葉のものと考えられます。溝からは、多くの土器とともに、「鉄滓」が出土しています。鉄滓とは、鉄を作る際に、その原料である鉄鉱石の中に含まれていた不純物が鉄分から分離して、冷



第1調査区 全景 南東から

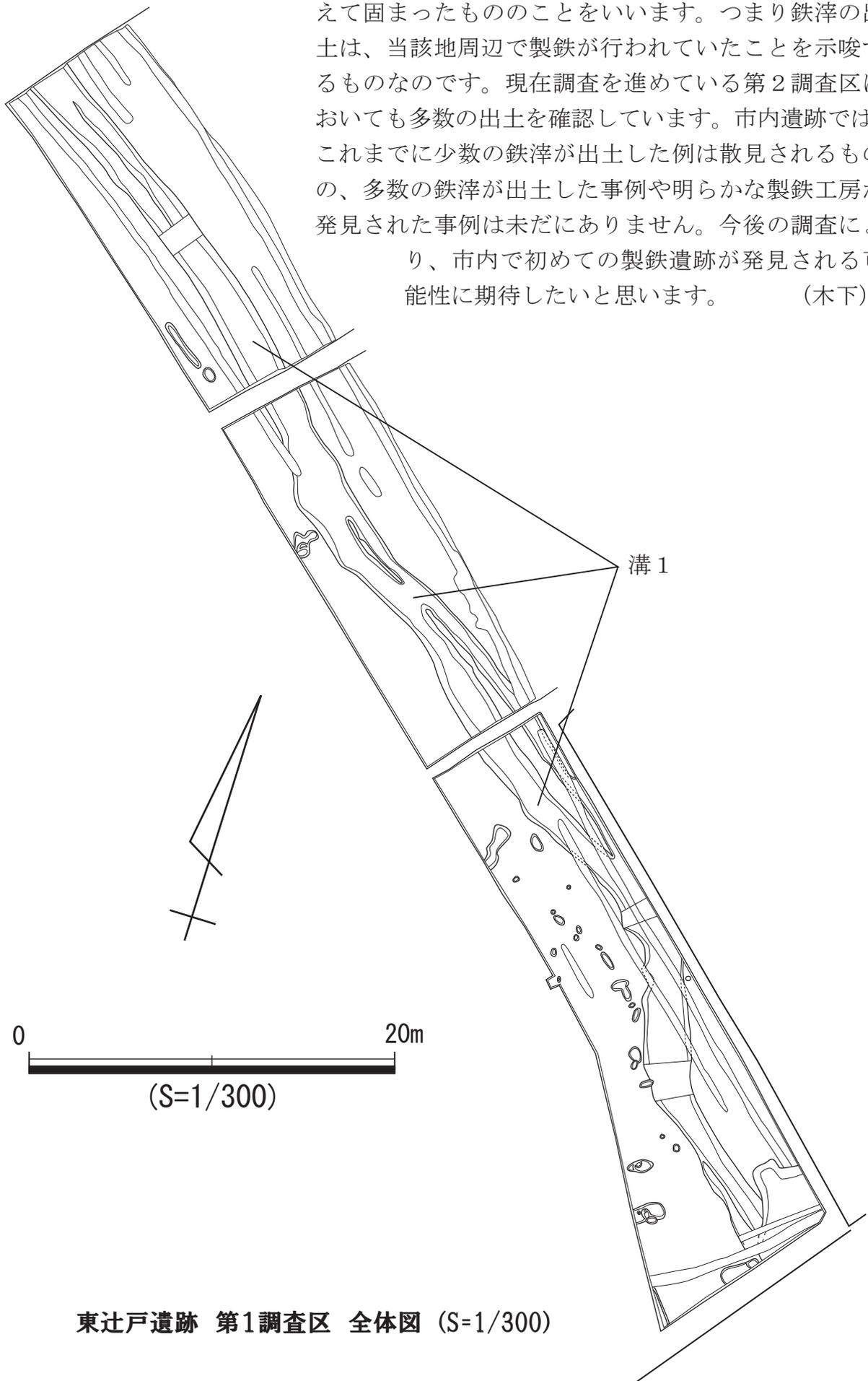


第1調査区 全景 北西から



東辻戸遺跡 調査区配置図

えて固まったもののことをいいます。つまり鉄滓の出土は、当該地周辺で製鉄が行われていたことを示唆するものなのです。現在調査を進めている第2調査区においても多数の出土を確認しています。市内遺跡では、これまでに少数の鉄滓が出土した例は散見されるものの、多数の鉄滓が出土した事例や明らかな製鉄工房が発見された事例は未だにありません。今後の調査により、市内で初めての製鉄遺跡が発見される可能性に期待したいと思います。 (木下)



東辻戸遺跡 第1調査区 全体図 (S=1/300)

● 埋文センターのできごと ●

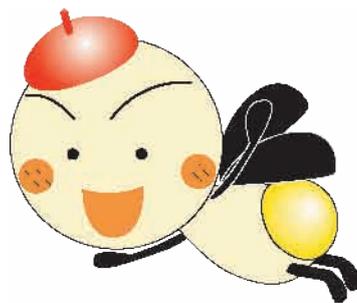
(1) 中洲幼稚園の田植え体験

埋文センターには、服部遺跡^{はっとり}で発見された弥生時代の多数の水田跡のうち、最も小さな田（約5m×3m）を復元してあります。そして毎年田植え、穂刈りなどを子供達に体験してもらおうイベントを実施しています。5月31日（火）には、中洲幼稚園の約20名の子供達に田植え体験をしてもらいました。子供達は、初めて体験する田植えに四苦八苦しなながらも楽しそうに、稲を植えてくれました。稲は現在でもすくすくと育っており、今年も秋の収穫が楽しみです。



(2) 中洲小学校の体験学習

6月24日（金）には、中洲小学校の2年生26名の生徒達が、埋文センターへ来館しました。センター所長の話をお聴いた後には、展示された土器などを熱心に観察し、スケッチをする生徒達もいました。その後、恒例の火起こし体験をはじめると、生徒達は大喜びで火きり臼を回し始めました。一部の子は、煙を出すことができ、大盛況の中で体験学習を終えることができました。



機関紙「乙貞」は守山市のホームページ (<http://www.city.moriyama.lg.jp>) から閲覧できます。